

平成28年10月28日

各 位

上場会社名 株式会社 名村造船所  
 代表者 代表取締役社長 名村 建介  
 (コード番号 7014)  
 問合せ先責任者 取締役執行役員経營業務本部長 池邊 吉博  
 (TEL 06-6543-3561)

平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異  
 および平成29年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成29年3月期通期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績数値との差異（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	76,000	△ 500	△ 1,000	△ 900	△ 13.05
今回実績(B)	68,166	△ 7,854	△ 9,120	△ 10,391	△ 150.59
増減額(B)-(A)	△ 7,834	△ 7,354	△ 8,120	△ 9,491	
増減率(%)	△ 10.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	70,962	3,691	3,658	4,086	59.25

平成29年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績数値との差異（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,000	△ 300	1,000	800	11.59
今回実績(B)	45,528	△ 4,869	△ 3,883	△ 4,506	△ 65.28
増減額(B)-(A)	△ 7,472	△ 4,569	△ 4,883	△ 5,306	
増減率(%)	△ 14.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	41,760	1,144	1,317	2,272	32.93

## 2. 平成29年3月期通期業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	153,000	1,200	600	100	1.45
今回修正予想(B)	138,000	△ 8,500	△ 9,500	△ 11,000	△ 159.42
増減額(B)-(A)	△ 15,000	△ 9,700	△ 10,100	△ 11,100	
増減率(%)	△ 9.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	147,202	6,639	5,574	7,311	106.02

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	114,000	600	2,100	1,500	21.74
今回修正予想(B)	103,000	△ 8,000	△ 6,500	△ 7,000	△ 101.43
増減額(B)-(A)	△ 11,000	△ 8,600	△ 8,600	△ 8,500	
増減率(%)	△ 9.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	83,558	816	1,950	3,332	48.29

## 3. 業績予想数値と実績数値との差異および業績予想修正の理由

第2四半期累計期間の業績予想数値と実績数値との差異の主たる理由は、当社グループの中核事業である新造船事業における期初の予想を大幅に超えた円高の進行と発注元の要請による納期調整および新規受注活動によるものであります。

売上面においては、期初予想（平成28年5月13日）では売上計上における未ヘッジ外貨407百万米ドルについて1米ドル当たり110円としておりましたが、実際の円転平均レートは103円06銭となったことや納期調整による工程見直しにより大幅な減収となりました。

収益面においては、売上高の減少に加えて、将来発生が見込まれる予想損失を算出する基礎となる為替レートを110円から9月末レートの101円12銭に変更したことや新規受注により、工事損失引当金を大幅に積み増した結果、減益となりました。

通期の業績予想は、未ヘッジ外貨の想定レートを1米ドル当たり105円としたことにより新造船事業における売上高が減少するとともに、新規受注による工事損失引当金の積み増しを見込んだ結果、営業利益、経常利益、当期純利益ともに大幅な下方修正が必要であると判断したものであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上